

# 遠隔教育システムの運用と拡充方策

2002年1月24日(木)

時間	講義項目
9:40 ~ 11:10	<p>市場拡大する遠隔教育～システム・コンテンツの標準化に向けて ～学習システム・サービスの相互運用性、コンテンツの再利用、次世代学習基盤整備～ 富士総合研究所 伊藤 健二</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 先進学習基盤協議会 (ALIC) の活動概要</li> <li>2. 高等教育、企業内教育における市場動向</li> <li>3. システム・サービスの相互運用性、コンテンツの再利用性を高める標準化動向</li> <li>4. 次世代学習基盤整備</li> <li>5. 高等教育における ALIC</li> </ol> <p style="text-align: right;">質疑応答</p>

## ケース・スタディ

11:20 ~ 12:50	<p>大学における e-learning : 科学技術大学の取り組み 東京都立科学技術大学 石島辰太郎</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 欧米大学における e-learning</li> <li>2. 日本の大学における戦略</li> <li>3. e-learning の誤解</li> <li>4. パラダイム変更</li> <li>5. 科学技術大学の戦略</li> <li>6. アジア遠隔教育プロジェクトへ</li> </ol> <p style="text-align: right;">質疑応答</p>
---------------------	---

## 昼食 (会場内外でご自由に)

13:50 ~ 15:20	<p>信州大学 通学制の「バーチャル大学院」国内初の設置 ～学部・院での実証実験を積んで、ネット上のみで単位取得～ 信州大学 師玉 康成</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 遠隔教育の導入経緯～コンセプト、開発思想、学内合意</li> <li>2. “通学課程”における“バーチャル大学院”設置の意義 ～基準の弾力化、社会的ニーズと学内シーズ、海外大学との連携</li> <li>3. 教育・研究システムと施設設備 ～カリキュラム、デジタル教材開発、実験・実習方法、サポート体制</li> <li>4. 入試と試験方法、課程修了と論文作成 ～第1期入学試験を終えて</li> <li>5. 今後の展開・課題</li> </ol> <p style="text-align: right;">質疑応答</p>
15:30 ~ 17:00	<p>バベル翻訳大学院(本部：米国)の教育システムとアクレディテーション ～米国 DETC 認定の申請～ BABEL Professional School of Translation 湯浅美代子</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 本格的インターネット・システムによる通信制大学院</li> <li>2. 世界各地で学んで、翻訳の学位を取得</li> <li>3. 翻訳教育 27 年の技術を生かしたコンテンツと教育技術。 そして手作りのインターネット・キャンパス</li> <li>4. 米国 DETC の認定</li> </ol> <p style="text-align: right;">質疑応答</p>